



# 地球

## デートDVって？



### もくじ

- デートDVって？つき合っているから当たり前？
- 「気づいてほしい。それって愛ではなく、支配」
- かながわ女性センター DV防止啓発冊子発行のお知らせ
- 雑感
- 男だけの料理実習“やろう会”を訪ねて
- 編集後記
- ドメスティック・バイオレンス(DV)相談窓口のご案内
- 共に生きるフォーラムふじさわ2013開催のお知らせ

# デートDVって?

つき合っているから当たり前?



サワオさん  
(高校2年生)

つき合って半年の彼は毎日私の予定を聞いてくる。明日も、親友と映画を観る約束をしていたのに、「自分で勝手に決めるな!」と怒り出し、結局、親友には断わりの電話。私のことが好きだからそうなるのかな。でもたまには、女どうして会いたい。

同級生の彼女は、僕の携帯電話の履歴を勝手にチェックし、他の女子とのメールがあると「ひどい!」と削除してしまう。文化祭の準備で女子ともメールしなくちゃいけないし、正直しんどい。



フジコさん  
(大学2年生)

## デートDVとは?

DV(ドメスティック・バイオレンス)は夫婦や恋人など親密な関係にある人への暴力をいいます。デートDVは大人だけでなく、つき合っている若者の間にも起こる暴力のことで、恋愛関係になった途端、急に相手の態度が変わって、力を使って相手を自分の思い通りに支配することです。身体への暴力だけではなく、次のようなものがあります。

### 身体的暴力

手や腕を強くつかむ、殴る、ける、たたく、物を投げるなど

### 心理的暴力

怒鳴る、おどす、無視する、バカにする、不機嫌になるなど

### 経済的暴力

借りたお金を返さない、貢がせる、アルバイトをさせる・辞めさせるなど

### 性的暴力

性交渉を無理強いする、避妊を拒否するなど

### 社会的暴力

友人関係や行動を監視する、行動や服装などを指示するなど

「彼氏・彼女だから束縛しても当たり前」「彼が暴力をふるうのは私だけに心を許しているから」「彼氏だからデート代をおごってくれるのは当然」など、「好きだから」という理由で相手に精神的、肉体的に苦痛を受けたり、与えたりする人も少なくありません。デートDVを受けて精神的に追い詰められると命に関わるケースもあります。

### デートDVを受けている友達(子ども)から相談されたら...

- ◎まずじっくり話を聞く
- ◎「あなたも悪い」や「すぐ別れなさい」と意見を押し付けず、その人が自分で考えたり行動できるように支えてあげる  
そして、相談窓口があることを伝えてあげてください  
(裏表紙に相談窓口一覧)

## デートDVチェックリスト

相手から

### あなたは?

- 電話に出なかったり、メールの返信が遅いと怒られたりする
- 常にどこにいるか報告させられ、交友関係を制限される
- 相手の機嫌をいつも気にしてしまう
- 相手は怒ると物を投げたり、突き飛ばしたりする
- いつもは優しいのに気に入られないと急にキレル
- 人格を否定するような暴言を浴びせられる
- 携帯の履歴を見られたり、友達のアドレスを勝手に削除されたりする
- 人前でバカにされたり、傷つく言葉を言われたりする

あてはまる項目があったら...

**あなたは、デートDVを受けている可能性があります。**  
自分と相手お互いにとって大切なことは何か考えてみましょう。

相手に対して

### あなたは?

- 腹が立って、物を投げたり、突き飛ばしたりすることがある
- 相手をバカにしたり、言葉で責めたりする
- どこで何をしているか気になり、いつも確かめてしまう
- つき合っているのだから、他のことより自分のことを優先するべきだと思う
- 「自分以外の人とつき合わないで」と言っている
- 自分がメールを送ったら、すぐ返信するように言っている
- 高価なプレゼントやお金を要求したりする
- 自分が不機嫌になるのは相手が悪いからだと思う

あてはまる項目があったら...

**あなたは、デートDVをしている可能性があります。**  
相手のことも尊重するように変えていきましょう。

# 「気づいてほしい。それって愛ではなく、支配」 ～高校・大学で「デートDV防止プログラム」～

ストーカーやDVが社会問題化する中、NPO法人「湘南DVサポートセンター」(理事長、瀧田信之氏)では、思春期の子どもたちにデートDVについて考えさせるワークショップを行っているそうです。同センターの活動に、いじめ・デートDV防止教育ファシリテーター(推進役)として関わる飯田亮瑠さんにお話を聞きました。



「デートDV防止プログラム」の大切さについて語る飯田亮瑠さん

## ーデートDV防止プログラムとは。

「恋人間の実際の会話や行動を題材に、ロールプレイやグループワークなどでわかりやすく学ぶ参加型の講座です。主に高校や大学の教室や体育館などに出向いています。内容は、暴力の定義を学んだ後、デートの場面の寸劇を見て、実際に生徒がロールプレイに参加して体験します。自分と他者との境界を知ることを通して、自分も相手も大切にすることを生徒自身が考えるきっかけをつくっています」

## ー高校生や大学生が関わっているそうですが。

「ユースリーダーと言って、次世代を担う若者たちがボランティアで活躍しています。大学生を中心に、高校生や社会人もいます。講座のアシスタントとしてプログラムを提供したり、暴力防止のためのイベントやキャンペーンを企画・運営をしたりしています」

## ー生徒たちの反応は。

「年齢が近いユースリーダーたちが寸劇を演じると、よりリアルですし、デートDV防止の活動に対する思いを彼らが話すことで、より共感が得られて伝わる。生徒たちの心にしっかり残るように思います」

## ー受講した生徒たちからはどんな声があがりますか。

「デートDVという言葉は初めて聞いたという生徒も少なくないですが、決して他人事ではなく、身近な問題。友人がそういう目にあっていると、彼女から束縛されているとか、自分もそうなってしまわないか心配だという感想をもらす生徒も。今は携帯電話もDVに大きく関わっているように感じます」

## ーデートDVの根底にはどのような問題があると思いますか。

「自尊心というものの影響が大きいのではないかと私は思っています。自尊感情の低下。つまり自分への自信のなさから相手をコントロールすることで自分を保っているのでは。問題はその支配を、自分も相手も愛情と錯覚していることにあると思います」

## ー今後の課題と展望は。

「課題はユースリーダーやファシリテーターの育成です。毎年ユースリーダーの養成講座を開いていますが、もっと仲間や人材が必要です。私自身は、性同一性障がいという自分の性の問題を契機に、子どもたちへ性教育を届けたい思いから養護教諭を志し、その過程でこの活動に出会いました。性教育含め、いじめやデートDVの問題を勉強していくうちに包括的な人権教育が大切だということに気づきました。」

「義務教育の現場に暴力防止の学びを導入してもらいたいし、悩んでいる子どもたちがこうした活動をしている団体にアクセスできるようなネットワークづくりも必要だと思っています」

「お話を伺った会議室では、元気いっぱいのユースリーダーたちが養成講座の準備をしていました。デートDVの最初の相談を受けるのは多くの場合、友達だそうです。友達の苦しさや耳を傾け、大人や専門家につないでいく大切な役割を担う若者たちに心からエールを送りたいと思いました。」

NPO法人「湘南DVサポートセンター」

<http://kodomo-support.org/>

(有田 記)

# 『ドメスティック・バイオレンスに悩む女性たちへ ～夫やパートナーからの暴力に悩んでいませんか～』

かながわ女性センターから『ドメスティック・バイオレンスに悩む女性たちへ～夫やパートナーからの暴力に悩んでいませんか～』と題した小冊子が発行されている。

この冊子は、「暴力は許されません」、「どんな暴力が起きているのか」、「ドメスティック・バイオレンスが起こる力関係」、「逃げ出せないのはなぜ?」、「まちがいです!ドメスティック・バイオレンスへの思い込み」、「ドメスティック・バイオレンスの影響は?」、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律とは?」、「悩んでいるあなたへ」、「あなたが相談されたら」の各章で構成されている。

また、「ドメスティック・バイオレンスについての県内の相談窓口」、「女性のための県内の相談窓口」についても紹介している。

この冊子は、「ドメスティック・バイオレンス」という言葉の定義から始まっている。それは、「夫や恋人、婚約者、同棲相手、元夫、以前つき合っていた恋人など親密な関係にある男性から、女性に対してふるわれる暴力や暴言をドメスティック・バイオレンス(DV)という」としている。

「パワーとコントロールの車輪」など図で説明したり、「配偶者からの被害経験」などの統計をグラフにしてわかりやすく解説している。また、具体的な事例も盛り込まれている。

「DV防止法」成立の背景と「DV防止法」の解説を行っている。最後に、「悩んでいるあなたへ」と呼びかけ、県内の相談窓口を掲載している。(大山 記)



かながわ女性センターのほか、配偶者暴力相談支援センター、男女共同参画センター、地域県政総合センター、福祉事務所、警察署などで無料で配布しています。

郵送をご希望の場合は、下記へお問い合わせください。

◇かながわ女性センター 研究情報課

電話：0466-27-2114

ファクシミリ：0466-25-6499

## 雑感

江の島にあるかながわ女性センターで行われた樋口恵子氏の講演『人生100年時代の生活設計～あなた的一生と働き方～』を聴きに行った。

若い頃からマスコミに登場して、男性ばかりの共演者や司会者の間で自分の意見を颯爽と披露していた姿はひととき異彩を放っていた、あの樋口恵子さんの話を直に聴ける。自然と胸が高鳴った。会場が近づくに従って、講演会に向かう人が目につくようになった。今日の講演会参加者は、幾年年齢層が高い、白髪の女性が目立っている。

会場に樋口さんが入ってこられた瞬間に、その存在感に圧倒されたが、テレビできっぱりと意見を述べる時の厳しさは微塵もなく、温かく優しい物腰、語尾のはっきりとした、凜とした口調で話を始められた。「もう83歳になります」会場は一瞬どよめいた。樋口さんは、その反応を楽しむように微笑んだ。

講演は、なぜ東大を目指したか、社会に出た時に受けたセクハラ、我慢ができなくて通信社を辞めた経験、そして教育関係の出版社での経験を話される中で、どのように日本の社会で男女共同参画が育ってきたか。そして、講演会の主題、女性には、職業についても、3つの滑り台、つまり、貧乏になる滑り台があるという話。3つの滑り台とは、寿退社、出産による退社、そして雇用の不安定な非正規社員のリストラなどの例をあげて話された。見事すべての滑り台に乗かって滑り降りてしまった身としては、自分が若い頃あんなに女性だって頑張ると張り切っていたことを思い出して、少しやるせない気持ちになった。

確かに、1975年の国際婦人年を境に法的な整備が整ってきてはいる。しかし、これからも性差別の問題は、自分の周りで個人個人で目を光らせて、チェックしていく必要があるという樋口氏の意見に頷き、講演の内容を反芻しながら、少し涼しくなって陽の傾いた帰り道を急いだ。(川辺 記)



## 男だけの料理実習“やろう会”を訪ねて

藤沢公民館のサークル“やろう会”を訪ねました。

平成7年から、男だけの料理教室を立ち上げたそうです。5年ほどの間、月に1回、先生について、料理を3~4品習う会でした。「当時から今まで続けているメンバーは5~6人だなあ」とのこと。その後、先生に習うのではなく、自分たちでレシピを探したり、時には考えたりして、自分たちだけの料理を楽しむ会に変わっていったそうです。

現在は、月に1回の実習を2ヶ月、3ヶ月目は旅行とし、その3ヶ月を4班に分かれたメンバーが順番に受け持つことにしているそうです。当番の班は、実習の1週間前に集まって、レシピを考え、材料の買出しをし、当日は段取りを他のメンバーに指導します。

現在のメンバーは19名、70代の方がほとんどだそうです。今年4月から、初代会長菅野さんが、名誉会長に昇格(?)され、大沢さんが会長になられたそうです。菅野さんは80歳、当初、2歳年上の大沢さんに副会長として補佐してもらい、会長を引き受けたそうですが、長年務めたので、今年代わっていただいたのだそうです。とてもいい関係のおふたりとお見受けしました。

私の伺った日は、「取材があるからかなあ」と皆さんが楽しそうに笑いながら話すように、17名の参加者がありました。普段はもう少しお休みがあるとのことでした。

9時半頃から徐々に集まり始め、料理の開始時間10時までには、来た人それぞれがちゃんと自分の役目を承知しているように準備が着々と整っていきました。

10時になると当番の方が、各人に配られたレシピの説明をし、各班に分かれて料理が始まりました。当日は4品の料理がつくられていました。ご飯を炊く係は既に決まっているとかで、隅の方でお米を研で量ってお釜に入れている方がいました。

4班に分かれて調理を始めましたが、当日のメンバーはレシピを考える班ではなく、その日に会長が毎回出席者を4つに分けるのだそうです。私は女の手を貸すのはいかがかと、見学しながら、邪魔をするようで恐縮でしたが、作業をされている皆さんにいろ



いろお話を伺いました。

不思議なことに4つに分かれた班のそれぞれに個性があるように見えて、私はひとりそのことを楽しんでいました。とても楽しげに大きな声で話したり笑ったりの班、黙々と4人それぞれにご自分の役目を的確にこなしているようにお見受けする班、リーダーシップを取る声が頼もしい班、レシピの内容をメンバー皆が相談しているような班。たまたまこんなにそれぞれの個性ある班になったのでしょうか？

12時近くにはどの班もそれぞれに出来上がった料理をテーブルに運び始めました。公民館の食器を使うのですが、これも入れる食器や盛り付けが各班の個性が出て、楽しい食事が想像されました。誰もが自分の役目をきちんとこなし、楽しい笑い声に包まれた素敵な調理風景でした。

12時から私は私も食べるだけはお仲間に入れていただき、お話しも伺いながらお食事タイムになりました。

1番若い方は44歳だそうで、大匙1杯がすりきりだと初めて知ったと笑っておられました。

男のレシピだから、今では先生に教えていただいた頃のように難しいものはしないそうです。

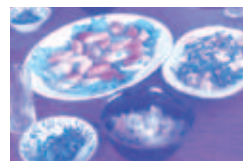
ひとり身になって、あるいは定年になって入会したという方も何人かおられました。1回、1000円の会費で、材料費は10000円程度、その残金で3ヶ月目の旅行や一杯の呑み会を楽しんでいるそうです。当日は、入会希望の方も一人見学にみえていました。

「奥様はだんな様の作る料理をまずいと否定せず、是非、肯定的にみてあげてくれるといいなあ」と言われました。男女を問わず、それぞれ互いに補い合いながら、楽しく料理をし、楽しく食事をし、楽しく暮らしていきたいものですね。

お料理、とても美味しくいただきました。“やろう会”の皆さん、ごちそう様でした。(甘粕 記)

### 当日の献立

- 春キャベツと若鶏の煮びたし
- 豚肉・豆腐とニラの炒めもの
- 春巻き2種
- ほうれん草のナムル



- ひまわりの大きな花が咲いています。3メートル位あり、上から見下ろされているような気がしています。(大山)
- 秋の季語は月。十六夜。十五夜より月の出はやや遅れる。いざよう月。十七夜は立待月。山の端に出る月を立って待つ。(甘粕)
- 暑過ぎた夏が終わろうとしている。先日慣れない日曜大工で本棚を作った。今年は読書の秋が楽しみだ。(川辺)
- ママ友との話題は進学・就職から、今はもっぱら恋愛と結婚に。親の悩みはつきませんね。(有田)
- 今年の夏は残暑厳しく、今号が発行されるころは、秋の夜長を楽しみたいです。(佐野)

# インフォメーション

## ドメスティック・バイオレンス(DV)相談窓口のご案内

一人で悩まずに、まず、お電話を！相談はいつでも無料です。秘密は守られます。

### 藤沢市の相談窓口

相談機関	電話番号	相談日・相談時間(休・祝日、年末年始を除く)
福祉事務所(女性相談員)	0466-25-1111 (内線)3261	月～金曜日 8:30～12:00/13:00～17:00
福祉保健総合相談室	0466-25-1111 (内線)3250	月～金曜日 8:30～17:00
人権相談(人権擁護委員)	0466-25-1111 (内線)2132	金曜日 13:00～16:00

### 神奈川県相談窓口

相談機関	電話番号	相談日・相談時間(年末年始・休館日を除く)
県配偶者暴力相談支援センター かながわ県民センター窓口	045-313-0745 045-313-0807	月～金曜日(祝日の金曜日は休み) 9:00～21:00(面接相談17:00まで)
かながわ女性センター窓口	0466-27-9799 (面接相談要予約)	火～日曜日9:00～12:00/13:00～17:00 (木曜日12:00まで・祝日除く、ただし、金・土・日が祝日の場合は開館し、次の火曜等が休館)
多言語による相談 英語、中国語、韓国語、 スペイン語、ポルトガル語、 タガログ語、タイ語	050-1501-2803 (面接相談要予約)	月～土曜日10:00～17:00 (面接相談16:00まで)
男性被害者相談	045-313-0745 (面接相談要予約)	月曜日～金曜日9:00～21:00 (面接相談は毎月第2・4日曜日の13:00～16:30) (祝日の金曜日は休み)
女性への暴力相談 “週末ホットライン”	045-451-0740	土・日及び祝日の金曜日17:00～21:00

### その他の機関

相談機関	電話番号	相談日・相談時間
横浜地方務局 “女性の人権ホットライン”	0570-070-810	月～金曜日 8:30～17:15

### 県警察本部 \*緊急時(事件発生時)は110番

相談機関	電話番号	相談日・相談時間
警察総合相談	045-664-9110 又は#9110	24時間(来所相談は月～金曜日 8:30～17:15 祝・休日、年末年始は除く)
女性・子どものための相談 (ストーカー・DV被害等)	045-651-4473	月～金曜日の8:30～17:15 (祝・休日、年末年始は除く) ※電話相談のみ
性犯罪被害110番	045-681-0110	

### 一般社団法人神奈川人権センター

相談機関	電話番号	相談日・相談時間
DVに悩む男性の ための電話相談	045-758-0918	毎週月曜日(祝日実施、年末年始は休み) 11:00～16:00 ・男性のDV被害者も、加害者も対象です。 ・電話相談のみ

## 2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業 共に生きるフォーラムふじさわ2013

### ◆講演テーマ

「どんな良いことがあるの？男女共同参画が実現すると…  
男女格差指数135カ国中101位の日本～世界とのギャップは何か?!!」

◆講師 大崎 麻子 氏(関西学院大学客員教授)

◆と き 11月16日(土)午後1時30分～3時30分(開場午後1時)

◆と ころ 藤沢市役所第3庁舎2階第3会議室(藤沢市朝日町1-1)

◆定 員 90名(申し込み順・無料)※手話通訳・保育(2歳以上の未就学児)あり

### ◆申し込み・問い合わせ

10月15日(火)から藤沢市ホームページ電子申請予約、ファクスまたはEメールに住所・氏名(ふりがな)・電話番号・保育希望の有無(希望する場合は10月29日(火)までにお子さんの名前(ふりがな)・年齢・性別)を書いて人権男女共同参画課。FAX:(24)5928(人権男女共同参画課 宛)、Eメール:jinkendanjyo@city.fujisawa.kanagawa.jpへ。



かがやけ地球は、市民の編集員さんの企画・運営によって、  
年4回発行しています。

編集  
スタッフ 川辺 裕子・佐野 美穂子・大山 賢一  
甘粕 保子・有田 留美子

## 藤沢・茅ヶ崎・寒川“湘南”がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121

## 古書・アウトレット本 買取と販売

ご不要なもの、お売りください。※一部、買取れない品もあります。  
買取(買取品目 書籍・CD・DVD・ゲームソフトなど)  
お売りいただく際は身分証明書のご提示をお願いします。  
お買得 稀少 アウトレット本と古書の販売  
詳しくは、下記ホームページで  
発売後、読者の手に渡らず出版社に在庫されていた未読の本(アウトレット本)を  
旧定価の20～80%OFFで販売します。他に珍品や稀少本など古書も扱っています。

藤沢駅(南口)前・有隣堂藤沢店 5階  
リブックス藤沢店 ReBOOKS 有隣堂  
☎0466-26-1411(有隣堂藤沢店代表番号) ●ホームページ <http://www.yurindo.co.jp/>

## キモチを伝えるデザインあります

チラシ・パンフレット・広報紙・HP・ショップカード・名刺・のぼり・クリアフォルダ・  
はっぴ・オリジナルグッズ・オリジナルキャラクターの制作、イベント企画など

(株)湘南よみうり新聞社 ☎0466-50-5088  
お気軽にお問合せください。info@shonan-yomiuri.co.jp

お見積  
無 料

毎月1回  
中庭・1Fの本店電スタージにて  
楽しいイベント開催中!

藤沢駅直結

フジサワ名店ビルでは、様々な貸ホール・ギャラリーを提供しております。  
教室の開催や展示会、講演などに、どうぞお気軽にご利用くださいませ。

空き状況は下記  
WEBサイトより  
確認いただけます。

**フジサワ名店ビル**  
☎0120-111-391 営業時間:10時～21時 〒251-0055 藤沢市南藤沢2番1-1号  
☎0466-23-0111(内) [www.fujisawa-meiten.com](http://www.fujisawa-meiten.com)

天然ガスがひろく未来



次の世代の子どもたちのために、  
いま、わたしたちができること…  
東京ガスは考えています。

天然ガスを使用した、効率的なエネルギー  
システムの普及・拡大に努めています。また、  
環境にやさしい暮らしやエコライフの提唱など、  
環境コミュニケーション活動を推進しています。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

TOKYO GAS